



ハウス解釈序論

☆☆☆

《ハウス解釈は最も重要なポイント》

レジオモンタナス・ハウスシステムにかぎらず、プラシーダスやコッホなど、ほとんどすべてのASCハウスシステムは、ハウス解釈がホロスコープ・リーディングの大きなポイントになります。

その理由は簡単です。なぜなら「ハ・ウ・ス・シ・ス・テ・ム」だからです。

ハウス（室）がサイン（宮）とピッタリ重なるイコール・ハウスシステムであっても第1部：基礎編でご紹介したソーラーサイン・ハウスシステムであっても同様です。

《ハウス（室）の分割基準は「空間」が正解》

ここでもう一度、サイン（宮）とハウス（室）は何によって分割されるのか基本をご理解ください。

サイン（宮）は、毎年春分点を起点に30度ずつ12等分されるので「時間」によって分割されています。

毎年春分点が、季節という「時間」をあらわすことがわかれば、このことは簡単にみえてきます。春分点→夏至→秋分点→冬至と季節はめぐっていきませんが、春分が何千年かたてば秋になることはありません。春分点は「春」という季節、すなわち時間の目処だからです

一方、ハウス（室）は、本人が生まれた地球上のある1点からみた「空間」によって12分割されたものです。

宝瓶宮占星学の基礎理論からは、宇宙は「時間」と「空間」と「人間」の基本三要素によって成り立っています。

宇宙を写し取ったホロスコープにも当然、この3つの要素が象徴（シンボライズ）されています。

でなければホロスコープから、個人と人類社会の森羅万象をリーディングすることができません。

むずかしいご説明はともかく、結論をいえば「時間」はサイン（宮）によって、「空間」はハウス（室）によって、「人間」は星とアスペクトによって象徴（シンボライズ）されています。

《12ハウス（室）は「成長」を象わす》

では「時間」を基本に分割された12サイン（宮）は、何を象わすことになるのか、また「空間」を基本に分割されたハウス（室）は、何を象わすのかということは、ホロスコープ・リーディングを理解するうえで重要です。

宝瓶宮占星学では「時間」の本質が「意志」であること、「空間」の本質は宇宙胎内システムによる「存続」や「成長」を象わすことを宝瓶宮占星学サイトに書いておきました。

それゆえ、12サイン（宮）が本質的に象わすものは「意志」になります。

一方、12ハウス（室）が本質的に象わすものは、個人においては「成長」になります。

これらに「人間」すなわち「機能」を象わす星や、位置による「関係性」を象わすアスペクトが加わってホロスコープが構成され、個人や人類社会を象わしています。